

金木犀の日

2024. 10. 2

今年は、9月30日だった。夜、ご近所さんに回覧板を届けようと、外に出た。ご近所さんのお宅まで来て気づかされた。あの匂いだ。そうである。今年は、いつになるのかとずっと気に留めていた金木犀の香りである。わずかではあるが、確かに金木犀の香りがした。

福島民友新聞の随想に、「金木犀」というタイトルでエッセイを掲載していただいた。日付は、9月19日だった。金木犀が香る時期に合わせたつもりだった。ところが、なかなか香りがしてこない。主任の先生から、小学校にある金木犀の木を教えてもらった。まだ、つぼみのようだった。

一昨年と昨年は、9月中旬だった。朝、外に出ると、ふわっといい香りがしてきた。金木犀の香りである。お天気がよく、風もなかった。爽やかな朝だった。まだまだ暑いですが、ようやく秋が近づいてきたかと思ったことを覚えている。

今年は、だいぶ遅かった。というか、本来の時期に戻ったのかもしれない。過去2年間に早すぎたのであろう。10月1日は、朝から天気がよく、風もなかった。いい朝である。思っていた通り金木犀の香りがしてきた。だが、香りが強くはない。今までとは違った。何とか金木犀とわかるくらいだった。昨年は、家を出たときも、学校に着いたときも、校長室にいても、強い匂いがしてきた。金木犀らしい香りだった。今年は、多少、状況が違った。やはり、金木犀には、あの強い匂いが似合う。

9月30日は、運動会の繰替休業日で休みだった。10月1日に、幼稚園に行くと、保護者の方が、金木犀のことを話題にしてくれた。その方も、「9月30日でした」とおっしゃっていた。私としては、朝、家を出て、ふわっとあの強い香りがしてきた日を“金木犀の日”としたかった。だが、今年は仕方がない。やや不本意ながらも、9月30日を金木犀の日とすることにした。

改めて、調べてみた。金木犀の開花時期は、9月中旬から10月下旬とあった。気温の影響を受け、気温が高いほど開花時期は遅くなるとあった。そうであれば、今年が遅くなったのも納得がいく。9月にいったん花が咲き終えた後、10月に新しい花が開花して下旬まで楽しむことができる樹もあるそうである。二度咲きである。

金木犀の開花時期は、わずか1週間ほどである。秋の風物詩の一つになっている。今年ほど、金木犀の甘い芳香を待ち望んだことはない。ようやく、香ってくれて一安心である。スケジュール帳の9月30日の欄に、“金木犀の日”と丁寧に書き込んだ。来年は、いつ頃になるのだろうか。また、暑い日が続き、10月になってから咲くのだろうか。10月1日の帰る頃には、いつも通りのふわっとした香りがしてきた。しばらくは、金木犀の香りを楽しみたい。